

PRESS RELEASE 2014. 6. 1.

The BAR (The Backers Foundation and AIT Residence Programme) vol. 7

アルバート・サムレス (アメリカ) とゴル・スーダン (ケニア) による新作展のご案内

初来日となる 2 名の若手作家が、3 ヶ月の東京生活を経て構想した新作を発表！

会期：2014 年 7 月 12 日 (土) - 7 月 26 日 (土) 会場：山本現代 (白金高輪)



[図版 1]



[図版 2]

- ▶ ビジネスのプロフェッショナルたちとアート NPO が手がける、異色のアーティスト・イン・レジデンスプログラム！
- ▶ アメリカとアフリカの 2 名のアーティストが 3 ヶ月の東京滞在で制作した新作と、コラボレーションに注目！
- ▶ 同プログラムにて、7 月は英国の現代アートシーンを先導する「Frieze Art Magazine」誌の編集者も来日！

この度、バックーズ・ファンデーションと NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト] (以下、AIT) は、7 月 12 日 (土) から 26 日 (土) まで、「アルバート・サムレス (アメリカ) とゴル・スーダン (ケニア) の新作展」を、白金高輪の山本現代にて開催いたします。本展は、バックーズ・ファンデーションと AIT が 2007 年より手がける、アーティスト・イン・レジデンス事業の第 7 回目の成果展です。これまでに、アフリカや中東、アジア、南米など、欧米に限らず多様な国々から積極的にアーティストやキュレーター (研究者、編集者) を招へいし、東京滞在における作品構想や展示のサポート、教育プログラムを通しての意見交換を実施してきました。

アメリカ在住で、カンボジア出身の両親を持つアルバート・サムレスは、「シンガポール・ビエンナーレ 2013」など、名立たる国際展に参加経験を持つ気鋭のアーティストです。これまでに、海流の影響で時間と共に素材が変化する『太平洋の水彩画』や、世界の多くの空港で流れるアナウンスを担当し、地球上で最も聴かれている声の一つでありながら実体を想像し難かった人物が、人間の存在の限界を問う詩を朗読する『ザ・ボイス』など、人々の認識の曖昧さや不確かさに着目した作品を制作しています。本展では、雨によって生成される絵画のほか、本年、モスクワの展覧会に出品する、オウムに歌を習わせる作品の関連作として、図形楽譜を展示予定です。

ケニア出身のゴル・スーダンは、大学で社会学と哲学を学び、独学で制作を始めたアーティストです。急激な経済発展を迎えているケニアは、瞬間に都市のインフラが整備されていく一方で、それに伴うデモも頻発しています。スーダンの『ドロ잉・イン・スペース』シリーズには、近年のデモで燃やされた車のタイヤから拾い集めた針金 (プロテスト・ワイヤー) が使われています。デモの際に、空間を分断するバリアとして使われていた素材を変容させることで、スーダンは、どちらにも属さない新たな空間を表出させます。本展でも、プロテスト・ワイヤーを使った同シリーズのほか、シエラレオネ共和国のフリータウンで見つけた自転車のケーブルや東京で発見した素材を使用したドロ잉やインスタレーションにより、さまざまな手法で空間を創出、介入することを試みます。

見慣れない環境から創造性の種を見だし、表現に昇華していくアーティスト・イン・レジデンスの経験は、アーティスト自身にも、その作品と出会う私たちにも、思いもよらない発想を生み出してくれるものといえるでしょう。つきましては、本展を是非ご紹介いただきたく、周知、告知活動にご協力賜りますようお願い申し上げます。

\*アーティスト 2 名は 8/8 まで、編集者は 6/12 から 7/12 まで東京に滞在します。取材をご希望の際はお問い合わせください。

## 展覧会概要

The BAR (The Backers Foundation and AIT Residence Programme) vol. 7

アルバート・サムレス (アメリカ) とゴル・スーダン (ケニア) による新作展のご案内

会期：2014 年 7 月 12 日 (土) - 7 月 26 日 (土) 11:00 - 19:00 (日月祝は休廊) \*入場無料

会場：山本現代 108-0072 東京都港区白金 3-1-15-3F TEL: 03-6383-0626

主催：NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

共催：バックーズ・ファンデーション

協力：山本現代、株式会社ヨックモック

レセプション：7 月 12 日 (土) 18:00 - 20:00

## 展覧会、取材、画像貸し出しのお問い合わせ：

山本現代 (担当 酒井) Tel &amp; Fax: 03-6383-0626 Email: i@yamamotogendai.org

## バックーズ・ファンデーションに関するお問い合わせ：

NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト] (担当 堀内/依田) Tel: 03-5489-7277 Email: otoiwase@a-i-t.net




**ゴル・スーダン / Gor Soudan (1983年ケニア生まれ、在住)**

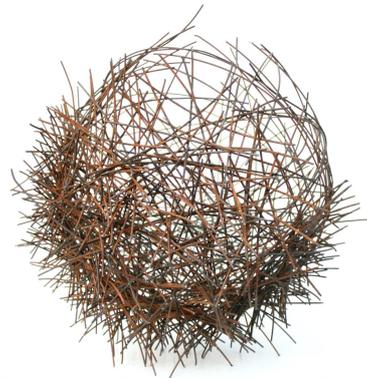
ナイロビ、キベラを拠点に活動を行うコンセプチュアル・アーティスト。ケニアのエガートン大学にて哲学、社会学および英語を学ぶ。スーダンは、現在の都市文化における複雑な社会問題を、美しく、忘れがたく、時に挑発的な作品へと変貌させる芸術的行為を追求している。これまでの作品には、紙くずや段ボール、プラスチック、また、近年のケニアにおける選挙への抗議活動で燃やされた車のタイヤから拾い集めたプロテスト・ワイヤー（焼け焦げた針金）を使い、『ドローイング・イン・スペース』シリーズを制作している。そうした作品の数々は、アフリカ、特にケニアにおいて急速に変化しつつある社会や、人間性への鋭い観察が映し出されている。

**<主な展覧会歴>**

- ・ 2012 「Angry birds」(クオナ・トラスト/ナイロビ)
- ・ 2013 「At a glance」(ケニア・カルチャー・センター/ナイロビ)
- ・ 2013 「The poetic line」(ゲーテ・インスティテュート/ナイロビ)
- ・ 2014 「Always searching for something; drawings in space」(フリータウン・ポップアップ・ギャラリー/シエラレオネ)



[図版 7]



[図版 8]



[図版 9]



[図版 10]

- [図版2] 「ドローイング・イン・スペース」/2014/プロテスト・ワイヤー（一部本展展示作品）
- [図版7] 「ドローイング・イン・スペース」/2014/自転車ケーブル（参考作品）
- [図版8] 「ドローイング・イン・スペース」/2014/自転車ケーブル/作品制作風景（参考作品）
- [図版9] 「イーティンクス」/2012/プロテスト・ワイヤー（参考作品）
- [図版10] 「無題」カラスシリーズより/2012/使用済み段ボール、自動車用塗料（参考作品）

**バックアツ・ファンデーシヨンは：**「バックアップしていく人たち」という意味で、オーナー型経営者が集まり、社会貢献事業を行なう経営者有志の任意団体です。1994年に社団法人日本動物福祉協会を助成することからスタートし、現在は、各団体に支援金を送るだけでなく、実際に会員たちが現場へ足を運び、「良い事を楽しく」を合言葉に参加する活動を行っています。現在は、60人の会員が在籍し、そのなかで複数の委員会を作り、メンバー自らが参加型で手作りの活動を行なっています。本プログラムのほか、2005年からは、子どもたちを対象にした「バックアツ寺子屋」塾の運営も行っています。The BARでは、これまでに、インド、ブラジル、アフガニスタン、シンガポール、モロッコ、インドネシアなどの国々から、12名のアーティストと6名のキュレーターを招へいし、2012年には、アーティスト10名を再招へいし、原美術館にてグループ展を開催しました

**AIT(Arts Initiative Tokyo)とは：**2002年5月に東京都より認証をうけたNPO法人で、東京を中心としたさまざまな場所に現代の視覚芸術にアクセスするための「プラットフォーム」の創出をめざして設立されました。教育プログラムMAD(Making Art Different)、国内外のアーティストやキュレーターを対象としたレジデンス・プログラムや、トーク、シンポジウム、ワークショップ、展覧会などのイベントを行っています。